



## 宇宙はいつどうやってできたの

### 宇宙には数え切れないほどの星がある

太陽と、太陽の周りを回っているわく星、小わく星、すい星と、わく星の周りを回っている衛星などの天体の集まりをまとめて、太陽系といいます。そして、太陽のように自分で光を出してかがやいている星が、2000億個ほど集まっているのが銀河系です。

宇宙には、この銀河系と同じような、星の集まりである銀河が、数千億個あると考えられています。

### 宇宙がふくらんでいる

1929年に、アメリカのハッブルという天文学者が、銀河どうしのきょりが、だんだん大きくなり、おたがいにはなれていって、銀河系から遠い銀河ほど、はなれる速さが速くなっている、ということを見つめました。これは、宇宙が、風船のようにふくらんでいる、ということになるわけです。

### 宇宙は一点からできた

ハッブルは、宇宙がふくらんでいることを、逆に考えて、宇宙の始まりはいつなのかを計算してみました。その結果から、今から100億年～150億年前に、宇宙はある一点に集まっていたことがわかったのです。

あるときに、何かの原因で大爆発が起こり、この爆発がきっかけになって、宇宙がものすごい速さでふくらみ始めたと考えたのです。この大爆発のことを、ビッグバンといいます。このようにして、宇宙ができたと考えられています。（監修・国司 真）

